



県連だより

第86号
令和元年12月6日
発行
神奈川県FD連盟



『企画会議』とは??



事務局長 武井 彩子

年間事業計画の中に、毎年8月最終日曜に開催される企画会議があります。理事の中でもこの会議の内容はあまり知られていないかもしれませんね。

「企画会議」とは、次年度の事業全般の予定を立てるための会議です。

メンバーは役員の会長・副会長・理事長・副理事長・事務局長の5名、と研修・普及・行事の各部長3名、合計8名です。

事前に各部・委員会・プロジェクトの次年度事業計画、日時と希望会場、おおよその内容等を事務局に提出、事務局は参加者全員分をプリント、年間事業予定一覧も用意します。午前10時から12時までの2時間、昼食と休憩1時間のあと、午後1時から3時間か3時間半ほぼ1日の会議で、なるべく日程の重複がないよう、また各会場の事情なども考慮し予定を立てます。とはいえ会場が必ずしも希望どおり確保できるとは限りません。

特に一昨年10月からの県立体育センター改修工事の期間とオリンピック期間の県立体育センター使用不可の期間に関しては、藤沢・海老名・横浜・横須賀・茅ヶ崎・逗子などの各地域の協力をお願いし会場確保していただいております。

会場ばかりでなく、事業の内容についても企画会議メンバーへの周知、理解、審議を行います。

勿論年間事業がそこで全部決定するわけではなく、あくまでも予定で、決定は総会での理事の賛同の後となります。

企画会議において、年間事業計画がいかんにして立てられていくか理事の皆様にご理解していただけたら幸いです。





4級公認スクール

藤沢ミセスF.D.クラブ 名取 孝子

『もう少し正確に踊りたい』という気持ちから参加。しかし4月第1回に参加した時、空気が違うことを感じました。参加者の意気込みは私とは違っていました。私の中で迷いが、そして逃げたい様な弱気な気持ちが辞める言い訳を探し始める始末。実技が最悪でした。今まで何となく踊っていたのが原因です。自信がないので声に出してのカウントも小声になりがちです。

気持ち変わったのは、所属サークルの先生に「あがらない為にはどうすれば？」とお聞きしたら、「100回練習」と返された時です。努力せずに逃げればかりの自分が情けなく感じ、『出来る限りの努力をしよう。』と決めました。

試験当日は、「何10年ぶりかしらこの緊張」の声が聞こえて来ました。今思えば皆同じ心境だったのだと感じます。決して満足の出来ではなかったですが、精一杯頑張った気持ちになれました。

後日合格通知が届きました。嬉しかったです。関わって下さった皆様に感謝の気持ちで一杯です。



全国フォークダンス 巡回講習会に参加して

事務局 上原 松子

令和元年5月25日(土)午後1時より、海老名市北部公園体育館で、第61回全国フォークダンス巡回講習会が開催されました。



5月25日海老名市北部公園体育館
講師 井上 京子 氏

講師は群馬県から、井上京子氏をお招きして、6曲を講習して頂きました。参加者は225名で、とてもたくさんの参加がありました。



5月29日秩父宮体育館
講師 松本 真美 氏

しかし当日は、5月にしては気温30度と、季節外れの暑い日で、体育館の中は冷房が入っていたのですが、体調が悪くされた方が救急車で運ばれるというハプニングが起きてしまいました。そんな中、井上講師はとても明解でわかりやすく指導して下さいました。

全部の6曲が終り、復習としてポーランドの踊り「ヘイ・ナ・モシチェ」のわかりにくかった部分をとりあげて、もう1度丁寧に指導して下さい、最後にもう1回踊って確認ができ、満足して帰りました。





行事部副部長 宮田 多美子

令和になって初めてのハローフォークダンスフェスティバルが、7月3日(月)横浜市南スポーツセンターで開催されました。スタンド席が無い、と言う会場でのパーティーは多くの不安要素を抱えてスタートしましたが、スタッフ全員の英知と協力でひとつ、ひとつクリアしながら本番を迎えました。

少ないスタッフで各々が自分に与えられた仕事を精いっぱいこなし、549名という参加者に最小限の不自由で踊って頂けるよう駆け回りました。

それにしても神奈川のフォークダンサーはスゴイ!!五重円というサークルを短時間で作ってくれるのですから。(拍手!)

最後に手前味噌を〜横浜市フォークダンス協会のデモンストレーションは本当に素敵でした。満艦飾のチーフに乗せて、フォークダンスの楽しさを伝えてくれました。“ありがとう!!”



夏期フォークダンス指導者講習会に参加して

事務局 川崎 弘子

梅雨明けも間近に控えた7月26日(金)、昨年迄と違い今年には秩父宮記念体育館での一日講習となりました。埼玉から斉藤昭子講師をお迎えして7曲教えて頂きました。じっとしていても汗の流れる中、179名の参加者が有り熱気で冷房もタジタジでした。

講師の大変パワフルでユーモアに溢れたご指導に終始皆さんの笑顔が印象的でした。曲もコミカルな掛け合いが楽しい踊りや情熱的なタンゴ等、バラエティーにとんでいてとても勉強になりました。



今回一番の不安は「カッコー・ワルツ」でしたが、曲の速さにターンもスピンも厳しかったです。

全曲パートナーを務められた方の軽やかなステップに目が離せず周りからは、ため息と共に10年前?なら出来たかも…。そんな声を聞きながら、最後のクールダウンのダンスを含めぎっしりの内容でした。

頭も体もフラフラで、やっとの思いで家迄辿り着いた長い一日でした。

TOPICS

まあ！この可愛いお嬢ちゃまはどなた？

大和スコティッシュカントリーダンスサークル最年少ダンサー

“なつみちゃん 5歳”です。

大和SCDC33周年サマーボールでのワンショット。

小さな足でしっかりステップを踏んでいますね。

3歳にしてダンサーデビューされたとか…。

ステキなダンサーに成長されますように！





第51回神奈川県フォークダンス研修会

事務局 阿部 喜美子

秋晴れの日、「第51回神奈川県フォークダンス研修会」ポーランドの踊りが、2019年9月24日(火)茅ヶ崎市総合体育館で181名参加し開催されました。

講師はヤン・マクルスキ・トウホ氏。ワルシャワ生まれで、1歳から高校卒業の18歳まで京都で育ち、その後ワルシャワ大学に留学。大学卒業後ポーランド国立舞踊団マゾフシェに入団されヨーロッパ各地をはじめ世界各国で公演されてきました。

パートナーはアレクサンドラ・ジャチコヴァ氏。日連主催のポーランドツアー2015においてシュロンスク舞踊団のワークショップで講師をされ、2016年の公認講師、2018年のポーランドダンス・ツアーの講師、2019年9月民族舞踊フェスティバル in Tokyoに講師として招聘され来日されています。

トウホさんは綺麗な日本語でご挨拶、「今日はオラさんとポーランドの踊りを楽しく踊りましょう…」と長身で素敵なルックスで丁寧なご指導、誰でもファンになってしまいますね。オラさん(愛称)は、たどたどしい日本語で「こんにちは」かわいい～素敵なダンサーでした。



トウホ氏とオラさん

講習曲は4曲で、1. クヤヴィアク・ヴォヴィツキは、お二人の素敵なダンスでした。心で感じ目に焼き付けて来ました。2. スタラババは、のりの良い音楽はサークルですぐ楽しめます。3. ポロネーズ・オギンスキは皆さんお馴染みの音楽で元気がでます。4. シェデムチェシオント・スケン・ミヤワは、スロバキアに近い踊りで軽快な踊りでした。4曲それぞれに変化があり楽しめます。



最後にクヤヴィアク・ヴォヴィツキを民族衣装でデモンストレーション、今回何よりの講習だったと思います。

最後に並木会長のご挨拶があり「時間をかけ大切に踊って下さい」とお話がありました。スタッフの皆様ありがとうございました。



踊るつぶやきくん*****

近頃折にふれ高齢化でサークルの会員が減ってしまった話をよく聞くようになった。五十代で踊り始めた人も、30年の経験を積みばそれなりの年齢になるのは当たり前のことながら、それが我が身となるといささか気に入らないのである。ツーステップは遅れ気味、ワルツターンは廻りきれない、なんと言うことだ。高齢になるとはこう言う事だったのだ。若い人よ(私より)今のうちに沢山楽しんでおくように。踊れるって素晴らしい!
(K・A)

2019 かながわレクリエーション大会

行事部 西森 晃代

秋晴れの10月27日(日)海老名運動公園総合体育館の小体育室を会場として開催されました。フォークダンスの受付者は、116名でした。今年度は「フォークダンス、レクリエーションダンス、民踊、スクエアダンス」の4団体のもと、また「オクラホマ・ミクサーをもう一度」のプログラムもあり三重の輪が出来る程の参加者でした。

開会式における並木会長の挨拶で、「オクラホマ・ミクサーをもう一度」の現地は神奈川県支部の最初の試みであると話されました。また閉会式ではレクリエーションダンス協会小林会長の「今日はとても嬉しい日です」と大勢で踊れることに感極まった挨拶をされました。

民踊の会では早速「オクラホマ・ミクサー」を取り入れるという話もありました。参加者はいろいろな特色ある踊りにふれることが出来、楽しくまた熱心に踊っている姿が見られる充実した一日でした。



早く踊りたくてウズウズの開会式



民踊は日本の伝統的なフォークダンス

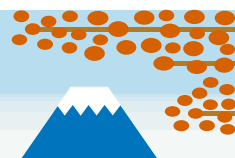


フォーメーションが楽しい



フォークダンスの王道

関東甲信静越 フォークダンスジャンボリー in 静岡



茅ヶ崎フォークダンスサークル 三橋 公子

10月4日、5日に参加しました。浜松駅から送迎バスで浜松アリーナへ。参加票が神奈川1番、金メダルナンバーでちょっと良い気分を受付をすませ、広い会場に入ると、静岡の皆様が美しいコスチュームで整列、私達他県の参加者は観覧席に、そして正面には巨大なスクリーン、開会式の様子が映し出されて、開会式の様子がとても良く拝見できました。



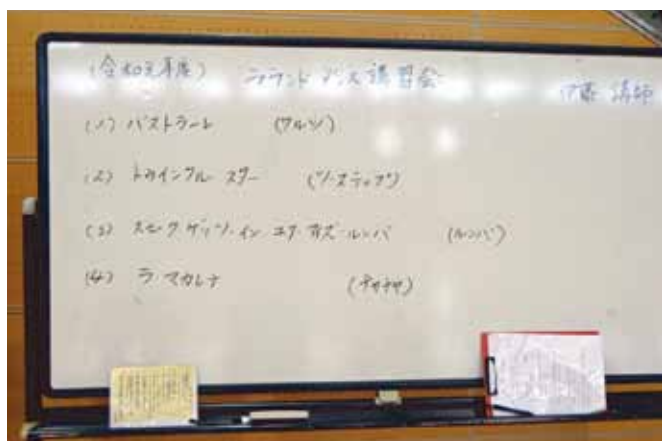
その後、整列していた静岡の皆様が、ウェルカムダンスと称してデモンストレーションを美しく披露して下さいました。パーティーが始まり、他県の皆様と踊れるのを楽しみに踊りの輪に入れていただいて、一気に心弾み皆様と交流、軽くおしゃべりしたり踊ったり、夜はホテルで食事と各県のアトラクション、もう会場全体が踊り踊りの盛り上がり、興奮醒めやらぬ中での終演。

2日目は再びダンスを楽しんで名残り惜しみながら閉会、浜松を後にしました。



・・・ラウンドダンス講習会・・・

11月3日 (日・祝)



民族舞踏フェスティバル
 ~ 1st in Tokyo ~
 2019.9月20日(金)~23日(月)



フィンランド



ポーランド



メキシコ



開会式



トルコ



スウェーデン



ブルガリア



発行責任者：神奈川県フォークダンス連盟 理事長 小鮎 吉子
 連盟ホームページ：http://www.cityfujisawa.ne.jp/~fd.fed.k/
 E-mail：fd.fed.k@cityfujisawa.ne.jp

編集後記：酷暑を乗り切ってからホットする間もなく、台風や大雨の被害が続き被災地の方々のご苦勞は想像を絶する事と思います。その中、日連の民舞フェスティバルは大盛況に盛り上がり、県連の行事もあと3つを残すのみとなりました。「県連だより86号」が皆様に届く頃にはジングルベルの歌声が聞こえてきますね。来年は良い令和の年になりますように。
 事務局編集担当 M・A